

熊本市スポーツ推進審議会 議事録

<開催日時> 平成30年6月27日(水) 10:00~11:30

<開催場所> 熊本市役所4階モニター室

<出席委員> 7名

会長	中川	保敬
副会長	林田	久美子
委員	井福	裕俊
委員	一川	治子
委員	本田	奈緒子
委員	池田	今朝清
委員	海津	英孝

(委員総数10名、欠席3名)

<説明のために出席した職員> 3名

熊本市スポーツ振興副課長 井戸 義行
外2名

<議事の概要>

- (1) 次回計画への討議
- (2) 専門部会の立ち上げ

<協議要旨>

- (事務局) 委員7名の出席により委員総数の過半数を超えるため、審議会が成立することを確認。
- (事務局) 会長及び副会長の選出を行い、会長挨拶の後、議事の進行を会長へお願いする。
- (会長) 議事(1)「次回計画の討議」について事務局より説明をお願いする。
- (事務局) 次回計画の討議について、現行プランの主な施策と国の第二期スポーツ基本計画、前回までの委員からの意見について説明。
- (一川委員) オリンピック開催を前に、オリンピック種目への関心が高まっている中、オリンピック種目になっていない種目についての盛り上げも考えていかないといけない。
- (井福委員) 競技ごとの実績に応じて、重点的な強化をはかるなど、競技種目に特化した強化についても計画に入れ込むことも可能だろうか。
- (一川委員) オリンピック終了後も継続的にスポーツ行っていけるような仕組みを作っていないといけない。競技団体を中心に結果を残す仕組みづくりが必要。
- (海津委員) スポーツを支える人材の育成について、第二次マスタープランに掲げてあるが、人材の育成を行う前に、人材の確保が難しい状況にある。スポーツ指導に関わる人材の確保についての取り組みについても考えていきたい。
- (池田委員) 社会体育移行に向けて、取り組みを進めている状況であるが、やはり指導者を確保することに難儀している。小学校部活動として活動するのであれば、色々と制限がかかる。
- (事務局) 指導者の確保の問題について、社会体育移行に向けて大きな受け皿となっているのが総合型地域スポーツクラブや校区体協になるが、指導者の確保や使用料に関する問題が生じてくる。
指導者について、熊本市ではスポーツリーダーバンクという制度があり、現在183名の登録者がいる。しかし、派遣の実績は年間10件程度にとどまっている。

最近の派遣依頼がよくあるのは、PTA活動等のレクリエーション活動である。また、レクリエーション等ではニュースポーツの指導依頼が多くあるが、ニュースポーツを指導できる登録者は少ない。また、日中に活動できる指導者はなかなかいない状況にある。スポーツリーダーの質の向上に向けて、年間5回スポーツリーダー向けの研修会を行っている。

(林田委員) スポーツリーダーのそれぞれの指導可能種目や指導可能時間帯などを一覧表にし各学校等に配布してはどうか。

(事務局) スポーツリーダーの整理については、現在行っているところであり、やがて一覧表については完成する見込みである。

(一川委員) ニュースポーツあたりの指導者はなかなかいないと思われる。学生あたりを活用してニュースポーツの指導にあたってはどうか。体育指導者を目指す学生を活用することで、学生も指導の勉強にもなると思う。

(井福委員) 市民の健康づくりの取り組みを行っているところであるが、体力健康づくりの向上を検証するデータの蓄積が必要である。学生については、スポーツテスト等のデータがあると思うが、一般成人の体力テストのデータをとることはなかなか困難である。

(会長) どの県も医科学の中心となる施設があることが多いが、熊本にはそれがない。もう少しスポーツ医科学を活用した取り組みを行っていくべきである。

スポーツフェスタ等のイベント開催時にそういったスポーツテスト等を行うのも1つの手ではないか。

(本田委員) 民間スポーツの立場からの意見になるが、小学校部活動の社会体育移行に向けて不安を抱えているところであるが、可能性の一つとして、民間への事業委託や、スポーツリーダーの派遣費用が2時間千円というものが本当に妥当なのかという検証も必要。子ども達を預かり、指導を行うという費用として。

スポーツコンベンションの分野において、来年度大規模なスポーツ大会が2つもあることから、これをきっかけにスポーツの関心を高める取り組みを様々な機関が連携して盛り上げていかないといけない。

(会長) 第2期スポーツマスタープランの基本施策の項目については、全国どこを見ても同じような文言であるため、もう一歩進めた形で目標を掲げていければと考えている。

(林田委員) スポーツ推進委員をもう少し活用した取り組みを行っていく必要がある。スポーツの指導は、経験を積まないと向上していかないと考えている。スポーツ推進委員の指導派遣等を行い指導する機会を充実させていく必要があると考える。

(井福委員) 喫緊の課題としては、やはり子ども達の体力向上に向けた取り組み、社会体育移行について計画に盛り込んでいく必要がある。

(会長) 他に意見はありませんか。

(各委員了承)

(会長) 議事(2)「専門部会の立ち上げ」について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 次期計画策定に向けてのスケジュールの確認、専門部会設置の必要性について説明。

(会長) 専門部会の設置について、集中した議論を行っていくためには必要であると考えます。今後、専門部会委員の相談があった際には、ご協力をお願いします。

(会長) 他にご意見はありませんか。

(各委員了承)

(会長) これで本日の議事は終了します。